

西条の山林資源を活用し持続的な森林経営を

西条ウッドボックスキャビン 『モバコ』の開発に挑戦!



地域産材を利用した『モバコ』

た可動式の住具で、トラックなどでの運搬が可能
です。

昨年度には、その試作品として「モバコ(MoVaco)」が完成しましたが、これは木材研究の第一人者である東京大学大学院の安藤直人名誉教授の総合企画のもと、東京の建築設計会社アズ・アルド代表の大内庸博氏がデザインを手がけ、市内企業等が製作を担当したものです。

サイクスでは、地域産木材の利用を促進するための流通システムの構築をめざし、東京大学などと連携して、地域産木材を利用した「西条ウッドボックスキャビン(S-WBC)」の商品開発を進めています。

このモバコには、スタンダードとオーダーの2タイプがあります。スタンダードタイプには3種類の基本サイズが設定されており、ま

知見を集結し開発

西条ウッドボックスキャビンとは、板を何重にも貼り合わせた構造用積層板で造られ

たオーダータイプは用途に合わせたボックス製作が可能なものとなっています。

可能性が広がる用途

モバコは事務所や飲食店として、またイベントなどでの臨時店舗としても利用することができ、都市部などスペースの限られた場所でも、車1台分の空間があれば設置することが可能です。さらに、災害時には仮設住宅としての活用や、複数を組み合わせること

で一般住宅としても使用することができると、極めて幅広い用途に対応する能力を有しています。

安藤名誉教授は、モバコの用途や特長について、「モバコは使う人のアイデア次第で、自由にアレンジが可能である。我々が提供するモバコは、使う人のアイデアが組み合わさることによって一つの商品として完成する。店舗や住宅など、いろいろなものに使つて

もらいたい」と話されています。

持続的な森林経営に効果

西条市内の人工林は、現在、成長期から利用期に移行する段階にあり、木材の積極的な使用を通じて、健全な森林を維持していくことが求められています。

そうした中、モバコが社会に普及することで地域産木材の利用が促進されることとなり、新たな森林の育成につながり持続的な森林経営が可能となるのです。

注目を集める事業展開

サイクスが西条ウッドボックスキャビンの開発に取り組み3年目となりますが、この間、県内外からモバコに関する多くの問い合わせが寄せられています。

サイクスでは、今後も引き続き関係機関との連携のもと、販売用の汎用型モバコの開発に向けて、コスト面における課題の解決やマーケティング調査等を実施するとともに、広く情報発信を行うなど、事業化の実現をめざしていくこととしています。

サイクスからの事業案内 のぞいてみませんか 異業種交流会うちぬきサロン

サイクスでは、毎月第二月曜日に異業種交流会「うちぬきサロン」を開催しています。地域産業振興のエネルギーを生み出す場所として開催しているこの交流会には、毎回約百名もの産業人のご参加をいただいています。業種や分野などは問いません。皆さんのお越しをお待ちしています。

■7月の開催予定
○日時 7月9日(月)
18時〜20時30分

○場所 サイクス1階
交流サロン

○参加費 2千円
(G-SICS会員企業等 1千円)

■申込み・問合せ
産業情報支援センター
TEL 0897-53-0010



知恵や情報、新しい創造の熱気が
集まる場所によろこ!